

全国910進学校の進路指導教諭が選ぶ イチ押しTMの大学はここだ!

表A 面倒見が良い大学



ranking	name	place	point
4	国際教養大 〇	秋田	103
5	明治大	東京	100
6	東京理科大	東京	80
7	産業能率大	東京	79
8	名古屋商科大	愛知	61
10	国際基督教大	東京	53
11	九州工業大 〇	福岡	45
12	高知工科大 〇	高知	43
13	富山県立大 〇	富山	38
14	中央大	東京	36
15	東京大 〇	東京	35
	立命館アジア太平洋大 大分		35
17	大阪大 〇	大阪	34
18	立教大	東京	32
19	昭和女子大	東京	30
	近畿大	大阪	30

無印:私立大学 〇:国立大学 〇:公立大学

共通テスト初年度となる来年入試は混迷を深めています。センター試験の替わりに実施される共通テストは、紆余曲折の末に民間英語試験の成績利用、記述式問題の出題が見送りになりました。多面的評価の柱であったジャパン・イー・ポータルフォーラムも運用を停止。その結果、共通テストはセンター試験とあまり変わらなくなりました。

ところが、新型コロナウイルス感染症拡大によって入試日程が大きく変更になりました。センター試験では、本試験と追試験の2回の実施でしたが、来年は3回になります。コロナ禍によって、学校が3か月近く休業していたこともあって、学業に遅れが生じています。その生徒の救済の意味があります。第一日程は1月16日、17日、第二日程は1月30日、31日で、どちらも全国の試験会場

実施されます。高校生は学業遅れがあると判断して、在学部の学校長の許可があれば第二日程を選択できます。浪人生は第二日程を選択できません。第二日程は第一日程の追試も兼ねています。さらに、第二日程の追試として特例追試が2月13日、14日に実施されます。

文部科学省は高校生にどの日程を受けるか、意向調査を行いました。7月末日現在で、第一日程は43万1千人、第二日程は3万2千人が受検予定です。9割が第一日程を受けることになりました。大学通信は注目を集める来年入試について、全国の進学校2000校にアンケートを行い、過去最高の910校から回答を得ました。その中で「**こちらの日程の共通テストを受検するか**」(35ページのグラフ1参照)の質問に、9割の学校が第一日程と答

表B 就職に力を入れている大学



ranking	name	place	point
4	法政大	東京	100
5	立命館大	京都	98
6	福井大 〇	福井	93
7	中央大	東京	76
8	産業能率大	東京	70
9	早稲田大	東京	64
10	昭和女子大	東京	62
11	近畿大	大阪	60
12	東京理科大	東京	52
	立教大	東京	52
14	福岡工業大	福岡	44
15	青山学院大	東京	36
	京都産業大	京都	36
17	慶應義塾大	東京	34
	大阪工業大	大阪	34
19	国際教養大 〇	秋田	32
20	日本大	東京	31

ranking	name	point
1	金沢工業大	24
2	明治大	22
3	東北大 〇	15
	八戸工業大	15
5	岩手大 〇	10
	国際教養大 〇	10
	中央大	10

ranking	name	point
1	明治大	363
2	法政大	92
3	金沢工業大	71
4	産業能率大	65
5	中央大	63

ranking	name	point
1	金沢工業大	85
2	福井大 〇	63
3	明治大	28
4	名古屋商科大	26
5	富山県立大 〇	22

ranking	name	point
1	立命館大	49
2	金沢工業大	43
3	近畿大	36
4	京都産業大	34
5	大阪工業大	32

無印:私立大学 〇:国立大学 〇:公立大学

え、高校生の意向調査と同じ結果となりました。

第二日程受検のほうが有利との声も聞かれます。なぜなら、第一日程の問題を見て対策を立てられるからです。ただ、国公立大の出願締め切りが2月5日のため、試験終了後の対策を立てる時間が少なくなります。共通テストのできが芳し

くなく、志望校変更するにしても検討の時間が短いのです。さらに、1月30日、31日には関西で人気の龍谷大、近畿大などが一般選抜を実施します。進路指導教諭の代表的な意見としては、「第二日程では、国公立大への出願や二次試験への対策の時間がない、私立大入試への対応を考えると時間的に厳しい」(岡山・公立高)ということ。その他、学習遅れを取り返していることを理由に挙げる学校も多くありました。なかには、「学校としては、第一日程受検を勧めますが、生徒が第二日程を受けたいと言えれば許可する方針なので、最終的に受検者数がどうなるかはわかりません」(東京・私立高)という意見もありました。

次にアンケートでは、**来年入試の傾向**についても聞いています(35ページのグラフ2参照)。その回答を見ると多い順に「安全志向がさらに強まる」76・9%、「学校推薦選抜(旧・推薦入試)や総合型選抜(旧・AO入試)が人気になる」66・9%、「地元志向が強まる」55・6%、「現役での進学志向がさらに強くなる」53・6%で、これらが回答のほとんどでした。

近年の入試の特徴である、安全志向、地元志向、現役進学志向がさらに強まりそうです。回答を見ると、「安全志向が強まり、学校推薦型・総合型選抜での入学者が増え、一般選抜は厳しくなる。コロナの影響

表H 入学後、生徒の満足度が高い大学

1	東京大	東京	340
2	東北大	宮城	278
3	京都大	京都	264
4	慶應義塾大	東京	126
5	早稲田大	東京	124
6	明治大	東京	100
7	大阪大	大阪	81
8	北海道大	北海道	77
9	同志社大	京都	72
10	名古屋大	愛知	64
11	立教大	東京	63
12	上智大	東京	59
13	青山学院大	東京	57
14	九州大	福岡	55
15	筑波大	茨城	50
16	東洋大	東京	47
17	関西学院大	兵庫	37
18	神戸大	兵庫	33
	武蔵大	東京	33
20	東京工業大	東京	32

表G 小規模だが評価できる大学

1	国際教養大	秋田	342
2	武蔵大	東京	212
3	国際基督教大	東京	168
4	会津大	福島	135
5	金沢工業大	石川	120
6	産業能率大	東京	98
7	九州工業大	福岡	59
8	都留文科大	山梨	54
9	立命館アジア太平洋大	大分	47
10	成蹊大	東京	45
	成城大	東京	45
	津田塾大	東京	45
13	一橋大	東京	42
14	富山県立大	富山	41
15	長岡技術科学大	新潟	38
16	高知工科大	高知	36
17	公立はこだて未来大	北海道	35
18	芝浦工業大	東京	31
19	神田外語大	千葉	30
20	京都工芸繊維大	京都	28

表F 改革力が高い大学

1	近畿大	大阪	305
2	東北大	宮城	242
3	早稲田大	東京	187
4	立命館大	京都	182
5	東洋大	東京	139
6	東京大	東京	118
7	京都大	京都	109
8	明治大	東京	89
9	筑波大	茨城	84
10	立教大	東京	79
11	関西学院大	兵庫	52
12	法政大	東京	49
13	名古屋大	愛知	46
14	青山学院大	東京	42
15	大阪大	大阪	41
16	九州大	福岡	39
17	佐賀大	佐賀	38
18	東京工業大	東京	37
	金沢大	石川	37
20	千葉大	千葉	33

表E 研究力が高い大学

1	東京大	東京	1,053
2	京都大	京都	1,023
3	東北大	宮城	625
4	大阪大	大阪	285
5	東京工業大	東京	246
6	名古屋大	愛知	225
7	九州大	福岡	145
8	東京理科大	東京	102
9	筑波大	茨城	97
10	早稲田大	東京	82
11	慶應義塾大	東京	63
12	北海道大	北海道	53
	近畿大	大阪	53
14	北里大	神奈川	35
15	九州工業大	福岡	26
16	東京都立大	東京	20
17	千葉工業大	千葉	18
	関西大	大阪	18
19	名城大	愛知	16
20	千葉大	千葉	15
	熊本大	熊本	15

表D グローバル教育に力を入れている大学

1	国際教養大	秋田	894
2	国際基督教大	東京	475
3	上智大	東京	415
4	立命館アジア太平洋大	大分	320
5	早稲田大	東京	235
6	東京外国語大	東京	138
7	立教大	東京	118
8	神田外語大	千葉	106
9	関西外国語大	大阪	97
10	関西学院大	兵庫	81
11	東京大	東京	77
12	千葉大	千葉	72
13	名古屋外国語大	愛知	56
14	青山学院大	東京	53
15	立命館大	京都	52
16	東北大	宮城	49
17	東洋大	東京	47
18	法政大	東京	42
19	九州大	福岡	38
20	同志社大	京都	36

表C 教育力が高い大学

1	東京大	東京	602
2	京都大	京都	464
3	東北大	宮城	447
4	国際教養大	秋田	168
5	大阪大	大阪	153
6	東京理科大	東京	125
7	名古屋大	愛知	96
8	九州大	福岡	94
	早稲田大	東京	94
10	慶應義塾大	東京	89
11	筑波大	茨城	88
12	東京工業大	東京	87
13	国際基督教大	東京	63
14	北海道大	北海道	59
15	上智大	東京	56
16	金沢工業大	石川	51
17	武蔵大	東京	44
18	広島大	広島	38
19	一橋大	東京	36
20	九州工業大	福岡	34

無印:私立大学 ●:国立大学 ◎:公立大学

次に表Bの「就職に力を入れている大学」を見てください。トップは11年連続で明治大。学生の就活サポートに力を入れていることで知られています。今年の就職先企業を見ると、楽天43人、リソナホールディングス42人、日本電気38人、TIS30人、SMBC日興証券29人などです。その他東京特別区60人、国家公務員一般職

たことに会おうと、学びにつながるなどのいい循環になっています。かつては「大学から出される課題が日本一多い」と言われ、敬遠されてきました。それが近年では魅力に変わり「勉強する大学」、「勉強させる大学」として人気になってきています。2位は東北大、3位は武蔵大、4位は国際教養大、5位は明治大でした。今年はこのランキングに異変が起きています。大手大学が上位に進出したのです。14位の中央大は昨年の48位から上昇、立教大は86位から18位に躍進しています。今までの受験生や学生ファーストの様々な取り組みが評価されたと見られますが、その他にも今年ならではの理由もありそうです。それがコロナ禍への対応です。大手大学の中でも、オンライン授業を初期に導入すると発表したのは立教大ですが、中央大も3月には「学生支援指針」を公表し、4月1日にはオンライン授業への切り替えを公表しています。奨学金制度の充実、学生への支援に早く対応したことが、評価されているようです。

か次第ですが、ますます地元大学への進学志向が高まりそうです。アンケートでは、各項目別に、進路指導教諭にオスメの大学を挙げてもらっています。5校連続で記入してもらい、最初の大学を5ポイント、次を4ポイント・・・として計算し集計しました。

まずは表Aの「面倒見が良い大学」です。トップは16年連続で金沢工業大。進路指導教諭からも「しっかり」と学生を一定レベルにするよう指導している（若手・公立高）、「学生がやりたいことを妨げずに挑戦できる大学」（新潟・公立高）、「高校在学中からは想像もできなかったような就職、進学をしている」（兵庫・公立高）、「面倒見が良い大学といえれば金沢工大と言われるくらい有名で、実際に生徒が進学して納得」（愛媛・私立高）など。入学後の授業、学生生活、部活動、就職などへのサポートの手厚さが評価されています。企画部の志鷹英男次長がこう話します。

「数理系の知識が道具として使いこなせることが必要で、それが社会にどう役立っているかを可視化することで、学生のやる気を引き出しています。例えば課外活動になりますが、学生と教員が一緒にソラーカーやロボットを作って大会に出るなどの活動をする夢房があり、そこで自分が学んだことを活かせており、逆に自分が知らなかつ

56人が就職者トップツいで、公務員試験対策にも力を入れています。次いで金沢工業大、九州工業大、法政大、立命館大、福井大と続きました。ランキングには実就職率（就職者数÷卒業生数・大学院進学者数×100）が高い大学も多くなっています。卒業生数1000人以上でトップの金沢工業大が2位、2位の大分工業大は17位、3位で国立大12年連続トップの福井大が6位、5位で10年連続女子大トップの昭和女子大が10位に入っています。地域別に見ますと、北海道・東北、北陸・東海は金沢工業大、関東・甲信越は明治大、近畿は立命館大、中国・四国と九州・沖縄は九州工業大がトップでした。

で東京の大学の人気落ちる」（東京・私立高）、「コロナで休校中に学習がしっかりやれた生徒、学校が有利。中堅と言われる大学の難化は今年と同様か。今後コロナが再流行すれば混乱が起きる」（神奈川・公立高）、「受験生の不安から早い時期の入試を選択する生徒が多くなる。一般選抜を選択する受験生は大きなチャンス」（静岡・私立高）、「地方から都市部への進学は減少すると思う。各大学のコロナ対策（予防対策、講義対策、テスト対策、就職支援など）も大学を選択する上で重要な要素のひとつになると考えられる」（宮崎・公立高）などです。

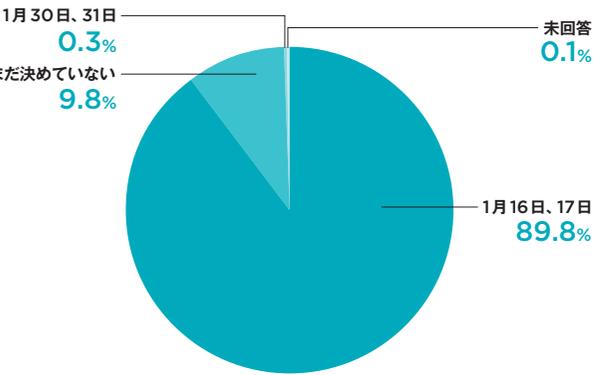
共通テストは問題の難易度が上がって平均点が下がると予測されており、安全志向が強まりそうです。過去問がないことも不安に拍車をかけています。コロナ禍があり、来年の一般選抜の頃に感染拡大があるかもしれない不安から、早く進学を決めたいと考え、学校推薦型選抜、総合型選抜が人気になるとの予測です。東京や大阪では感染者が増えているので進学するのは怖いし、大手の大学に入学しても今年は後期もオンライン授業で大学に行けず、友達もできないのなら、地元大学のほうが友達も近くについて安心ということでしょう。

今年のコロナ禍で、もともと不安を感じたのが、子どもを一人暮らしさせて大学に通わせている保護者でした。来年は感染拡大がどうなるの

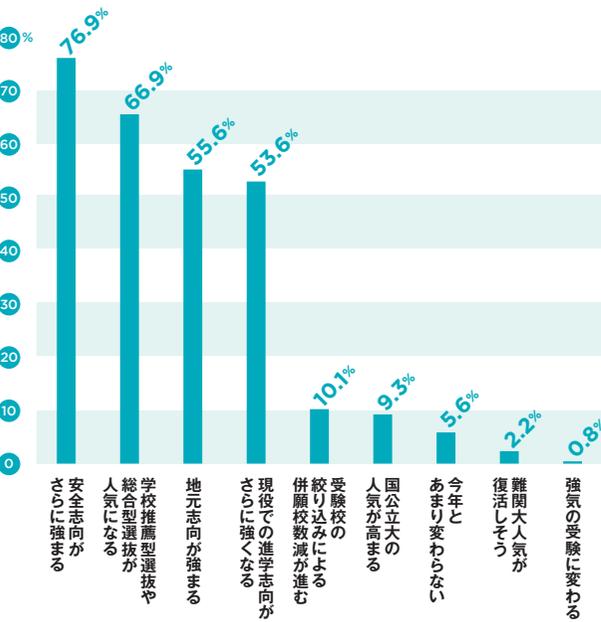
「数理系の知識が道具として使いこなせることが必要で、それが社会にどう役立っているかを可視化することで、学生のやる気を引き出しています。例えば課外活動になりますが、学生と教員が一緒にソラーカーやロボットを作って大会に出るなどの活動をする夢房があり、そこで自分が学んだことを活かせており、逆に自分が知らなかつ

か次第ですが、ますます地元大学への進学志向が高まりそうです。アンケートでは、各項目別に、進路指導教諭にオスメの大学を挙げてもらっています。5校連続で記入してもらい、最初の大学を5ポイント、次を4ポイント・・・として計算し集計しました。

コロナ禍によって、来年の大学入学共通テストは1月16日、17日と1月30日、31日に実施されることになりました。どちらの受検をお考えでしょうか。



コロナの影響で、「現役志向」「安全志向」「地元志向」の大学選びは来年、どうなるとお考えでしょうか？（複数回答可）



表Kは「生徒に人気がある大学」です。トップは東北大、2位は金沢工業大で、以下、東大、東大理工大、京大と続きました。表J-1の国公立大トップは6年連続で東大、次いで京大で、3位が東北大でした。トップ10には旧7帝大7校と東京工業大、筑波大、公立の国際教養大が入っています。難易度の高い大学が上位に来ています。特に世界最高水準の教育研究活動の展開が見込まれる指定国立大学法人に選ばれた6校が入っています。一方、表J-2の私立大はトップが早稲田大、2位が慶應義塾大で、この2校が3位以下に大差をつけました。以下、国際基督教大、東京理科大、上智大、明治大と続きました。やはり難易度が高い大学が上位に来ています。

表K 生徒に人気がある大学

1	明治大	東京	499
2	早稲田大	東京	476
3	立教大	東京	327
4	青山学院大	東京	298
5	慶應義塾大	東京	202
6	東京大	東京	177
7	東洋大	東京	175
8	東北大	宮城	170
9	法政大	東京	162
10	神戸大	兵庫	151
11	京都大	京都	147
12	関西大	大阪	134
13	大阪大	大阪	133
14	中央大	東京	126
15	名古屋大	愛知	124
16	近畿大	大阪	120
17	九州大	福岡	118
18	同志社大	京都	114
19	日本大	東京	111
20	上智大	東京	109

メリットに、学生と教員の距離が近い教育を展開しています。表Hは「入学後、生徒の満足度が高い大学」です。トップは東大、2位が東北大、3位が京大、4位が慶應義塾大、5位が早稲田大でした。毎年のことですが、難易度の高い大学が上位を占めます。難関を突破したことで満足度も上がり、第一志望の受験生が多いことも影響しているようです。表Iは「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」です。トップは東北大、2位は金沢工業大で、以下、東大、

東京理科大、京大と続きました。東北大は「面倒見が良い大学」、「改革力が高い大学」、「入学後、生徒の満足度が高い大学」がいずれも2位です。評価が高く人気もあります。旧7帝大の中で、もっとも一般選抜以外の募集枠が大きく、入試改革にも積極的です。表Jは「偏差値や地理的、親の資力などの制約がない場合、生徒に勧めたい大学」です。表J-1の国公立大トップは6年連続で東大、次いで京大で、3位が東北大でした。トップ10には旧7帝大7校と東京工業大、筑波大、公立の国際教養大が入っています。難易度の高い大学が上位に来ています。特に世界最高水準の教育研究活動の展開が見込まれる指定国立大学法人に選ばれた6校が入っています。一方、表J-2の私立大はトップが早稲田大、2位が慶應義塾大で、この2校が3位以下に大差をつけました。以下、国際基督教大、東京理科大、上智大、明治大と続きました。やはり難易度が高い大学が上位に来ています。

表J-2 生徒に勧めたい私立大学

1	早稲田大	東京	802
2	慶應義塾大	東京	723
3	国際基督教大	東京	329
4	東京理科大	東京	251
5	上智大	東京	242
6	明治大	東京	237
7	同志社大	京都	218
8	立命館アジア太平洋大	大分	119
9	立命館大	京都	114
10	立教大	東京	93
11	金沢工業大	石川	74
12	近畿大	大阪	74
13	青山学院大	東京	73
14	関西学院大	兵庫	57
15	関西大	大阪	56
16	武蔵大	東京	48
17	中央大	東京	41
18	津田塾大	東京	39
19	法政大	東京	36
20	東洋大	東京	26

表Eは「研究力が高い大学」です。トップは6年連続で東大です。2位は京大で、この2校のポイントが突出しています。3位が東北大で、「教育

力が高い大学」のトップ3と同じ顔ぶれになりました。進路指導教諭の考えには、大学にとって研究と教育が、車と言えば両輪との考えが強く、研究に優れている大学は教育力の評価も高くなっています。以下、大阪大、東京工業大、名古屋大、九州大と続き、国公立大が上位です。私立大トップは8位の東京理科大でした。表Fの「改革力が高い大学」を見ていきましょう。トップは5年連続で近畿大。一般入試志願者数が7年連続日本一の人気大学です。インフラ整備に力を入れ、校舎の建て替えが進んでいます。また、新学部の設置の計画もあり、改革の手を緩めません。クロマグロの完全養殖に成功したのはをはじめ、研究力の高さも12位で、関西の私立大ではトップの評価です。2位は東北大、3位は早稲田大、4位は立命館大、5位は東洋大でした。立命館大は2024年に映像、情報理工の2学部を大阪にばらきキャンパスに移転すると発表しました。来年入学者は4年次にキャンパスが変わることになります。表Gは「小規模だが評価できる大学」です。トップは国際教養大、次いで武蔵大、国際基督教大、会津大、金沢工業大、産業能率大の順となりました。トップ3はいずれも文系の小規模大学です。2位の武蔵大は「ゼミの武蔵」といわれるほどゼミナール形式の授業が有名です。4年間必修で学生数が少ないことを

表J-1 生徒に勧めたい国公立大学

1	東京大	東京	988
2	京都大	京都	944
3	東北大	宮城	687
4	大阪大	大阪	297
5	東京工業大	東京	233
6	国際教養大	秋田	211
7	北海道大	北海道	208
8	九州大	福岡	198
9	名古屋大	愛知	175
10	筑波大	茨城	149
11	一橋大	東京	121
12	神戸大	兵庫	85
13	広島大	広島	77
14	千葉大	千葉	65
15	金沢大	石川	43
16	九州工業大	福岡	41
17	熊本大	熊本	41
18	東京外国語大	東京	37
19	東京都立大	東京	34
20	岡山大	岡山	33

2位は国際基督教大、3位は上智大、4位は日本人学生と留学生が半数ずつの立命館アジア太平洋大、5位が早稲田大でした。上位は国際系の学部を設置している大学が目立っています。国際系学部だけではありませんが、今年はコロナ禍で留学ができていません。この現状が来年入試にどう影響するかが注目されます。表Dの「グローバル教育に力を入れている大学」のトップは、この項目での調査開始以来11年連続で国際教養大です。「面倒見が良い大学」と「教育力が高い大学」でともに4位、「小規模だが評価できる大学」で1位とさまざまな項目で評価が高くなっています。国際教養学部のみ単科大で、授業はすべて英語で行われ、1年間の留学が必須です。1年次は全学生が外国人留学生と寮生活を送ります。5年で卒業する学生も多いですが就職実績は高くなっています。学んできた内容が評価されています。

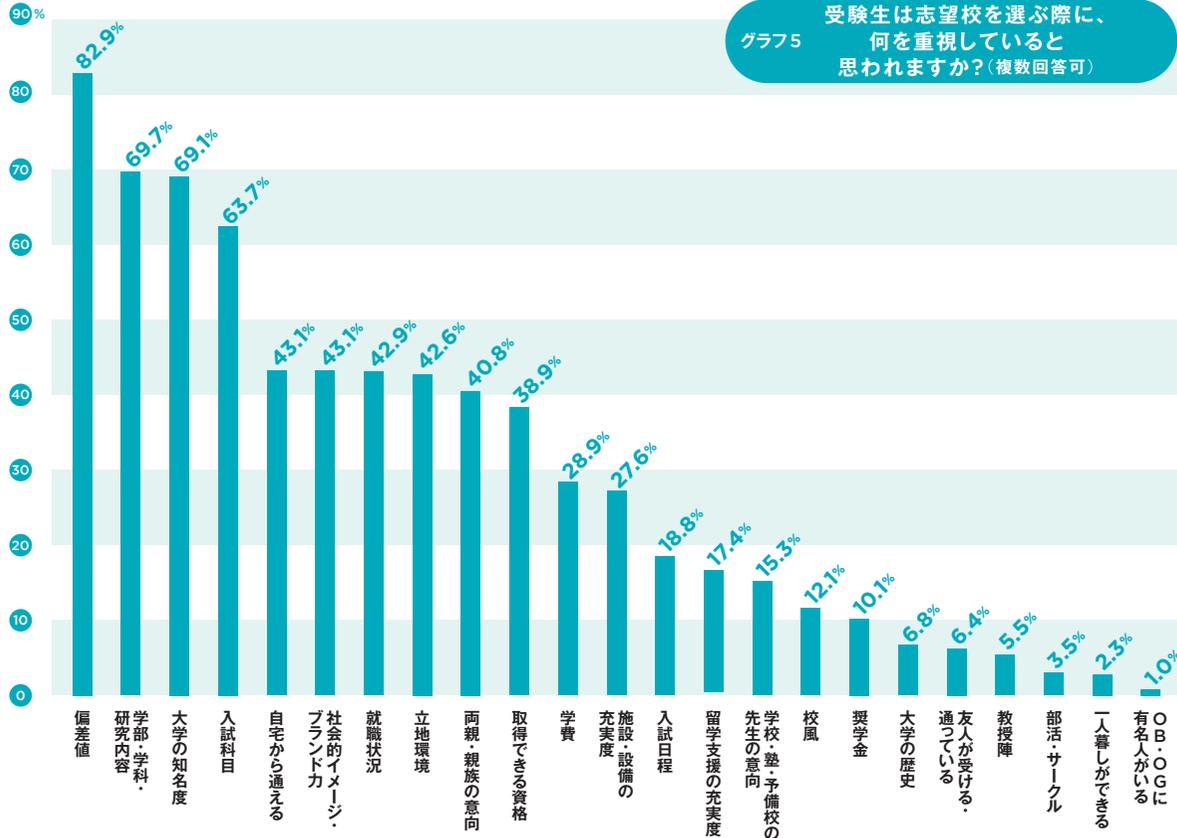
2位は国際基督教大、3位は上智大、4位は日本人学生と留学生が半数ずつの立命館アジア太平洋大、5位が早稲田大でした。上位は国際系の学部を設置している大学が目立っています。国際系学部だけではありませんが、今年はコロナ禍で留学ができていません。この現状が来年入試にどう影響するかが注目されます。表Dの「グローバル教育に力を入れている大学」のトップは、この項目での調査開始以来11年連続で国際教養大です。「面倒見が良い大学」と「教育力が高い大学」でともに4位、「小規模だが評価できる大学」で1位とさまざまな項目で評価が高くなっています。国際教養学部のみ単科大で、授業はすべて英語で行われ、1年間の留学が必須です。1年次は全学生が外国人留学生と寮生活を送ります。5年で卒業する学生も多いですが就職実績は高くなっています。学んできた内容が評価されています。

表I 入学後、生徒を伸ばしてくれる大学

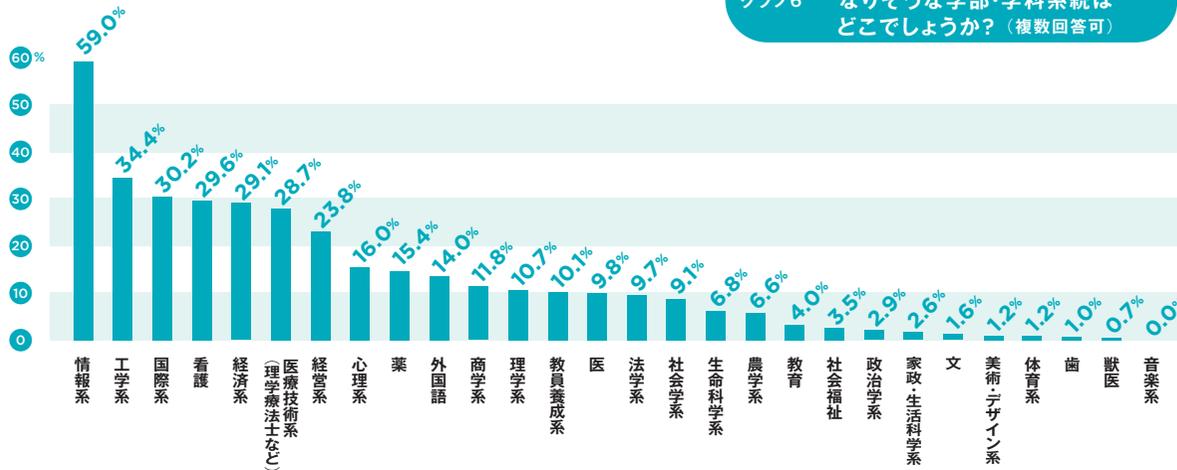
1	東北大	宮城	322
2	金沢工業大	石川	214
3	東京大	東京	195
4	東京理科大	東京	158
5	京都大	京都	118
6	国際教養大	秋田	88
7	大阪大	大阪	63
8	九州大	福岡	53
9	慶應義塾大	東京	48
10	国際基督教大	東京	41
11	東京工業大	東京	39
12	名古屋商科大	愛知	39
13	産業能率大	東京	38
14	武蔵大	東京	38
15	早稲田大	東京	38
16	立命館アジア太平洋大	大分	38
17	名古屋大	愛知	35
18	九州工業大	福岡	35
19	明治大	東京	35
20	神田外語大	千葉	30

無印:私立大学 ㊦:国立大学 ㊧:公立大学

受験生は志望校を選ぶ際に、何を重視していると思われるか？（複数回答可）
グラフ5



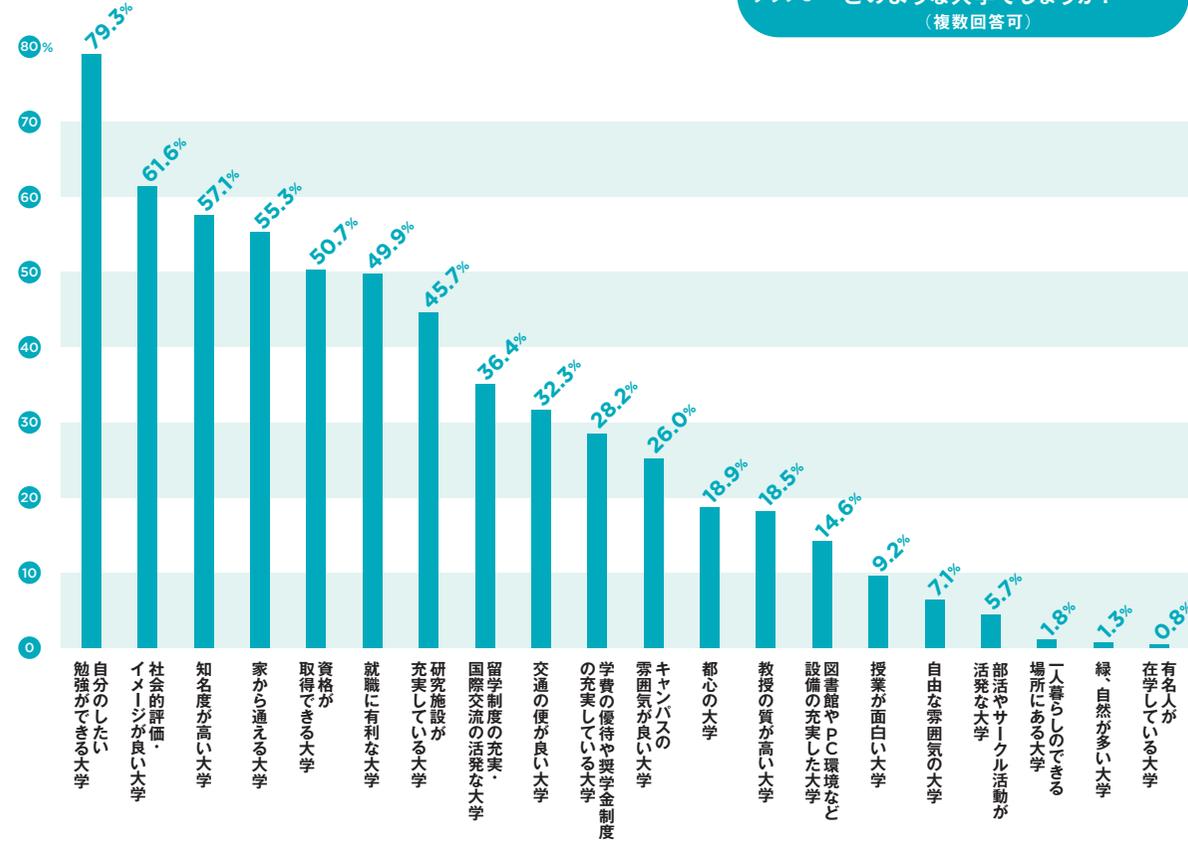
来年入試で生徒に人気になりそうな学部・学科系統はどこでしょうか？（複数回答可）
グラフ6



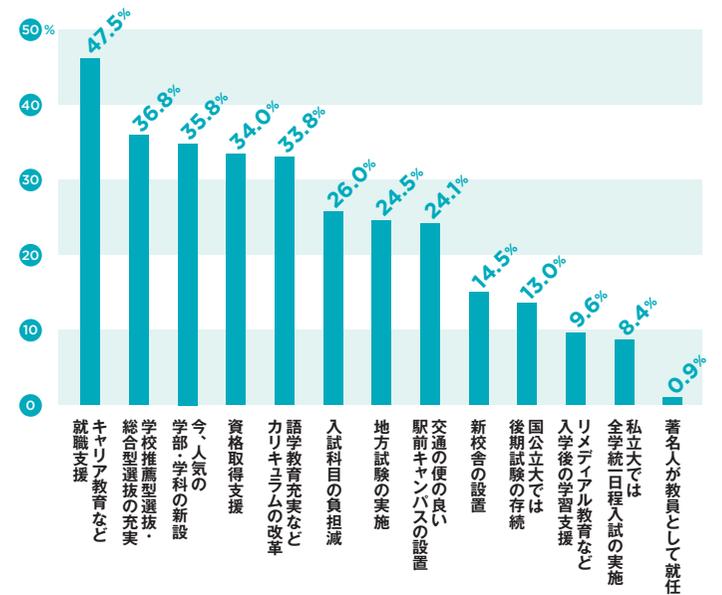
う。次いで「今、人気の学部・学科の新設」「資格取得支援」「語学教育充実などカリキュラムの改革」の順です。グラフ5は「受験生は志望校を選ぶ際に、何を重視しているか」です。トップは「偏差値」で82.9%です。2位が「学部・学科・研究内容」の69.7%、3位が「大学の知名度」の69.1%、4位が「入試科目」の63.7%、5位が「自宅から通える」の43.1%と続きました。こまめが6割を超え、それ以下は5割を切っています。今年はコロナ禍によって大規模な模試が実施されておらず、一般選抜を目指す受験生にとっては偏差値がしっかりとわからない状況です。やはり、来年の入試への不安は例年以上に大きく、入試絡みのことを気にしているようです。

最後はグラフ6の「来年入試で人気になりそうな学部」です。トップは情報系で59%。今年の入試でも人気でした。2位は工学系、3位は国際系、以下、看護、経済系、医療技術系、経営系の順でした。来年も「理高文低」の学部人気になりそうです。混迷深い来年入試ですが、志望校決定は今までは変わりません。「仕組みが変わったり迷走するほど、『本当の学力』を持っている生徒が強くなる。右往左往したり、傾向や情報に動かされたりする生徒の結果は良くない（大分・公立高）」との意見もあります。コロナ禍で不安も大きいですが、エキスパートの意見を参考に志望校を選んでほしいものです。

生徒に人気のある大学はどのような大学でしょうか？（複数回答可）
グラフ3



大学は改革を実施し、受験生に魅力をアピールしようとしています。こういった改革が受験生に受け入れられているのでしょうか？（複数回答可）
グラフ4



次にグラフを見ていきましょう。グラフ1、2は前述のとおりです。グラフ3の「生徒に人気のある大学」では、「自分のしたい勉強ができる大学」が79.3%で10年連続トップです。次に「社会的評価・イメージが良い大学」61.6%、「知名度が高い大学」57.1%、「家から通える大学」55.3%の順。昨年と比べて「家から通える大学」のポイントが上がっていますが、やはりコロナ禍の影響と見られます。「資格が取得できる大学」「就職に有利な大学」もアップしており、コロナ禍による景気後退で、就職が厳しくなることへの対応とも読み取れます。

次にグラフ4の「受験生に受け入れられる改革」についてです。トップは「キャリア教育など就職支援」で47.5%です。2位は昨年5位から大きく伸びた「学校推薦型選抜・総合型選抜の充実」の36.8%。コロナ禍の影響で、学校推薦型選抜、総合型選抜の希望者が増えているためです。